

令和6年度 町政懇談会記録

開催日時：令和6年10月8日（火）午後7時～

開催場所：小川総合福祉センター

対象地区：小川第4区～10区

参加人数：30名

Q. 総合振興計画アンケート送付先について

A. 今回、総合振興計画策定にあたり、アンケート調査を実施した。アンケート発送先は町民の方、無作為抽出により2,000件を配布、また、中高生無作為で426件、小学生無作為で176件を送付した。

Q. 農地バンク（貸し手）の登録について

A. 詳細について確認した後、農業委員会より連絡する。

Q. 新那珂橋架け替え工事の着工について

A. 新那珂橋は、震災の後、大きな被害を受け、やむなく落橋したという経緯がある。その後の新しい橋の建設については、町だけではなかなか事業を進めることができない。県と話し合いを進め、こういった形で架け替えができるか、今協議を行っている。

Q. 「土砂災害危険区域」における砂防対策について

A. 土砂災害警戒区域や危険箇所などは県により指定されている。小川地区は実施はしていないが、必要な場所について順次、砂防等の対策を行っていると同っている。話の中にあつた片平地区については、今のところ計画等は伺っていない。

県で土砂災害規制区域・急傾斜地ということで約10数年前、第1次調査が入った。数年前に第2次、現在第3次ということで、全国的に災害が多発し、当初は1次で終わるはずが、2次、3次ということで現在に至る。

来年度、調査区ごとに作成する防災マップの更新を予定している。まずは、自分の住んでいる地区が規制区域、要は、特別警戒区域のレッドゾーンと言われる区域に入っているのか、もしくは警戒区域、イエローゾーンと言われる区域に入っているのか、まずは自分で確認していただき、自分の身は自分で守れるようにあらかじめ想定していただくようお願いしたい。県でも急傾斜地や土砂災害警戒区域などの優先順位を決めて工事着工しているという話も伺っているが、すべてのエリアを網羅するには時間がかかりすぎる。なかなか優先順位を高く、というようなことは難しいと感じる。

できれば防災マップや、総務課にも危険区域等の色を染めた図面等もあるので、まずは確認していただきたい。また、第1次、2次については今のマップでも確認はできる。それと併せて危険区域、指定の際には、地元の説明会を開催していたと思うので、第3次の調査結果について、もし必要であれば、説明会

を開催できるかを県と協議していきたい。

Q. 6次産業化の推進、町のインバウンド需要に向けた取り組みについて

A. 今後、6次産業化を進める中でも団体を新たに設ける時期が来れば積極的に組織化していきたいと考えている。

インバウンドについても、今、飯塚邸を中心に外国人旅行客が宿泊に来ている。先日も飯塚邸に長期宿泊されたという話も伺っている。そういった方たちが今後 SNS 等で世界に向け、那珂川町の良さを発信してくれることに大きな期待を寄せている。また、今後、海外の方に来てもらえるような、住んでもらえるような地域づくりが必要かと考える。

閉会 (20 : 00)